

共立女子大学 家政学部学生による企画展示

19世紀

ヨーロッパへの懐古

平成22年9月25日(土) ～ 平成22年10月21日(木)

休館日：日曜・祝祭日及び10月15・18・19日

共立女子大学

神田一ツ橋キャンパス

本館1階展示室

東京都千代田区一ツ橋2-2-1

TEL：03-3237-2425

《交通》

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・
都営地下鉄新宿線「神保町」駅下車
A8出口から徒歩1分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車
1b出口から徒歩3分

共立女子大学 家政学部学生による企画展示

19世紀ヨーロッパへの懐古

19世紀末期のヨーロッパでは、フランスにおいて「アール・ヌーヴォー」(新しい芸術)、イギリスにおいて「モダン・スタイル」(近代様式)、ドイツにおいて「ユーゲント・シュティール」(青春様式)と呼ばれる、新たな美の創生を目指した多彩な動きが生まれました。「世紀末芸術」とも呼ばれるこれらの芸術工芸運動は、国、また地域によって異なった名称を与えられてはいましたが、絵画・彫刻だけでなく、建築や工芸デザイン・ポスター・挿絵など、多分野にわたって相互に交流、影響関係が見られた点と、華麗な曲線模様を主体とした新しい美を追求したという点で、互いに類似した要素をもっていました。

この展覧会では、「世紀末芸術」を含む本学所蔵の19世紀半ばから末期にかけての作品を展示して、19世紀ヨーロッパの工芸美術を概観いたします。



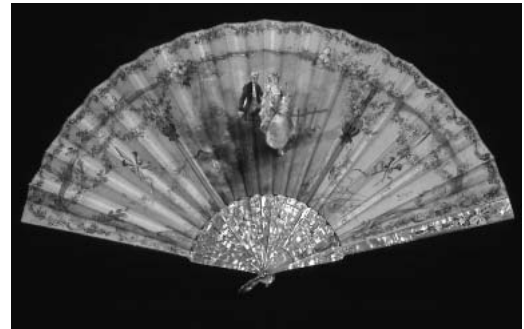
ルイ16世様式金縁長椅子
フランス19世紀後半(旧松方コレクション)



ビスク・ドール
19世紀



ガラス小瓶
エミール・ガレ 1890年頃



扇 絹地手描き彩色
1890年頃